

埼玉農工幾料販売株式会社

お客さまとのつながりを大切に、アンテナを高く張ることで、新しい製品を開発し続ける



埼玉農工幾料販売株式会社

代表取締役
関口 昌昭

従業員数

9名

設立

1981年

事業概要

有機肥料製造・販売、農業用資材販売

先人の知恵を大切に、捨てられてしまう原料から新しい有機肥料を開発

私は化成肥料全盛期であった1981年に有機肥料の会社を立ち上げました。学生時代に、米ぬかを肥料として与えた農作物の方が化成肥料のもの比べて美味しいことを実感して以来、有機肥料にこだわりを持って事業を行っています。

「人間の体に良いものは植物にも良い」という先人の知恵を大切にしながら、**通常は捨てられてしまう様々な原料から肥料を開発している**ことが当社の大きな特徴です。これまで、終戦直後の肥料がない時代に鯀(にしん)を田に撒いていた話を聞いて魚粉を原料に有機肥料を作ったり、「松の木の元気がなくなったら酒粕を与えるとよい」という昔からの知恵を参考に酒粕を原料にしたりと、先人の知恵を参考にしながら有機肥料を作ってきました。今の時代には活用されずに捨てられてしまうものがたくさんありますが、その中には酒粕や梅酢液など、人間の体にも良く、有機肥料の原料になりそうなものがたくさんあります。**自然のものをうまく取り入れるという考え方を大事にすれば、これらを原料として活用でき、常に新しい製品のアイデアが生まれます。**通常は捨てられてしまう原料を用いることは、元々廃棄物だったものから新たな価値を作り出すことでもあるため、環境に優しく、循環型の社会にも貢献できると考えています。

有機肥料の原料は、自分で探すこともありますが、全国

の農家や農協とのつながりを活かし、全国の畑を訪ねたり、様々な会に参加したりすることで、いろいろな人から相談を受けて始まることも多いです。**有機肥料のアイデアがひらめくと、製品化に向けてすぐに小規模な試作をスタートさせ、製品化に向けて試作を重ねていきます。**「この次は何をするのか」と聞かれることも多く、ひらめいたらすぐに取り組むというスピードも私の特徴かもしれません。



全国のお客さまと共に農業を発展させていく

お客さまは、会社を応援し育ててくれる親のような存在でもあると感じています。そのため、ただ肥料を販売するだけでなく、**お客さまの畑に行って肥料の使い方をアドバイスしたり、お客さまが使いやすいように肥料を混合した状態で渡したりするなど、お客さまのことを考えて様々な取り組みを行っています。**また、たとえ商売でのつながりがなくなったとしても、自家製の蕎麦を贈って恩返しするなど関係性を大切にしています。

「あなたのアドバイスのおかげでこの地域の農業が良くなった」とお客さまから褒めていただくことも多く、大変嬉しく感じています。このような関係性を大切にしているか



らか、全国の農家や農協から「この材料でも肥料を作ることとはできるか」と相談を受ける機会も増え、事業を拡大することができました。また、新規のお客さまの獲得にもつながる良いきっかけとなっています。最近では、全国の農家に正しい有機肥料の使い方を伝えるため、Instagramで有機肥料や栽培アドバイスの発信も行っています。

有機肥料の新しい製品を開発するには試行錯誤の時間がかかるため、3年計画で事業を考えています。事業を考えるうえで現場に行くことが不可欠だと思っていますので、営業担当だけに任せるのではなく、**私自身も顔見知り**を訪問しながら、来年度さらに良くするにはどうしたらよいかを常に考え続けています。

私たちは「**農家と共に歩む**」という経営理念を大切にしています。**有機肥料の製造や販売、肥料のアドバイスを**通し、**農家と一緒に**なって日本の食料品を維持し、日本の皆さまを守っていきたくて**います**。また**有機肥料の普及により、日本の皆さまが健康になる農作物づくりにも貢献したい**と考えています。これからもつながりを大切に、取組みを広げていきたいです。



社員は一国の主。 社員を思い、責任を持って経営していく

社員は家庭において一国の主であり、私には一国の主を預かる責任があります。当社のお客さまは全国にいるため、一家の主である社員たちには遠方まで車で飛び回ってもらっています。だからこそ、事故などがあつた際に**社員の家族が困らないよう、生命保険・損害保険に加入**しています。また、私が失敗すると社員もその家族もみな路頭に迷うため、**安定して雇ってあげられるように様々な分野の勉強**

をしています。他にも**事情があればリモートの朝礼を取り入れるなど、社員が働きやすく、その家族も守ってあげられるような環境づくり**に取り組んでいます。

私は、社員もその家族もみな家族のように思っています。社員のおかげでInstagramの発信や新しい製品の紹介など新しいことに挑戦できており、感謝してもしきれません。これからも社員を守りながら、この会社の事業を発展させていきたいです。



ここがポイント!

- 通常は捨てられてしまうものを再利用して常に新しい製品のアイデアを得ている
- 全国のお客さまとの関係性が事業の拡大につながっている
- 社員とその家族を家族のように思い、安心して働ける環境づくりに取り組んでいる